WAKUWAKU HAWAII

By Natsumi Hashimoto

ALOHA!
FROM
WAKUWAKU
HAWAII

子連れハワイの準備は想像しただけで気が遠くなる？
お子さんを学校に入れるとなるとなおさらですよね。

何から始めればいいのかわからないママのためにこちらのプランニングパッケージをご用意しました。

まず絶対に外せない項目から決めていけば大丈夫！進めるうちに全体像が見えてきます。

生活エリアも学校もたくさんチョイスがある中で、ママにとって準備と実生活が一番楽で楽しいパターンを選びました。

私や先輩ママたちの経験からハワイロングステイの最初の一歩をナビゲートします。

橋本なつみ

Natsumi Hashimoto © All Rights Reserved

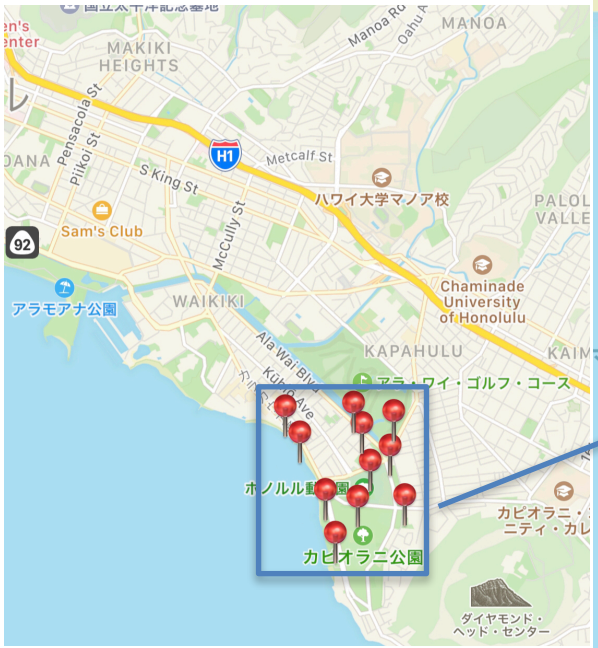
ビザを取らずにハワイ

日本のパスポートを持っていれば９０日間までアメリカに滞在できます。
毎年夏休みに、または閑散期の２月ごろに１、２ヶ月間のハワイ滞在を決めている日本のファミリーも多いです。
私のおすすめは秋か春に３ヶ月ゆったりステイ。繁忙期の８月に１ヶ月ステイする予算があれば安い時期に３ヶ月かそれ以上暮らせます。

ビザを取ってハワイ

親子留学で一般的なのはママとお子さん（1人か2人）で学生ビザをとってきている母子組です。日本人が一番多いですが、韓国人や中国人も同じようなスタイルで多く来ています。
この場合、ママが語学学校や大学などに通うためのF1ビザをとり、子どもはその連れということでF2ビザを取ります。ママはちゃんと学校に通い続けなければいけないので学費がかかりますが、子どもは公立の学校に入れるので無料です。ビザの申請は専門のエージェントさんにご相談ください。
これ以外にも、駐在員ファミリーや大学の研究員ファミリーなど別のタイプのビザで数年間ハワイで暮す日本人ファミリーもワイキキ周辺にたくさんいらっしゃいます。
ビザや永住権を持って暮らしている外国人は運転免許も取れますしローカルIDが持てるのでカマアイナ割引も受けられます。

Natsumi Hashimoto © All Rights Reserved



住まいを決める

子どもがいる生活でよくいく場所にピンを置きました。やはりワイキキ東エリアは子育てに便利な場所ということがわかります。

短期滞在の家族が多いエリアなので学校側も英語が苦手な短期の子の受け入れに慣れていることは大きなポイントです。日本人のお友達もたくさんいて心強いです。

何処へでも徒歩移動できるのでレンタカーを借りなくても生活できます。必要な時だけUberやカーシェアを利用するのが快適です。

６ヶ月以下の短期レンタルでコンドミニアムを探すと

”Vacation Rental”
”Short-term Rental”
というカテゴリーになります。

長期レンタルに比べると割高ですが家具や日用品は全て揃っていてすぐに生活が始められます。

オーナーから直接借りるのと管理会社が間に何社も入っているのとでは同じ物件でも予約サイトによって値段が違います。私たちもワイキキに短期レンタルのコンドミニアムをご用意していますのでお問い合わせください。

Natsumi Hashimoto © All Rights Reserved

子どもの学校を選ぶ

プリスクール

1歳2ヶ月から6歳まで受け入れてくれるワイキキコミュニティセンターのプリスクールが一番人気でおすすめです。
キンダーガーテンの歳になっていてもビザなし短期滞在の子なら入れます。
夕方５時半まで長く預かってくれるのでママもゆっくりできますね。
数ヶ月前からウエイトリストに名前を入れておきましょう。デポジットはなしでいつでもキャンセルできます。
このスクールが満席の場合は他におすすめの学校があります。

小学校

7月31日までに5歳になっているローカルの子（ビザあり滞在の子も）は夏休み明けの８月から小学校のキンダーガーテンに入学します。小学校は１年間のキンダーガーテンと５年生までで計６年間です。

ビザなしの短期で小学校に入りたい場合は私立の小学校で受け入れ先を探しましょう。
ビザありなら公立校にも入れます。無料です。ワイキキに住んでいるとジェファーソン小学校の学区になります。ワイキキ小学校は大人気ですがその学区に住めば必ず入れます。

キッズキャンプ、サマースクール

6月7月の夏休み、冬休み、春休み期間中に各地で開催されます。一番人気はホノルル動物園のZOO CAMPです。一週間ごとに申し込みができて5歳から入れますが急がないとすぐ満席に。

Natsumi Hashimoto © All Rights Reserved

最初の登校日までのプロセス

日本出発前にやること

□ 入りたい学校に空席があるか問い合わせる

□ ウェイトリストに名前を入れる（必要ならデポジットを支払う）

□ アプリケーション書類のダウンロード、記入 、送付

□ 日本の学校からのトランスクリプト等が必要な場合は書類を用意してもらい、英訳する

□ メディカルレコードのフォーム（Form14)をハワイ州保健局からダウンロードし、小児科医に予防接種履歴を記入してサインをしてもらう

ハワイに到着してからやること

□ 学校に連絡して到着したことを伝え、初日の前に学校に行く必要があるか確認

□ ツベルクリンのスキンテストを受け、２日後に結果を聞きに行き、必要箇所を全てドクターに記入とサインをもらってメディカルレコードの書類(Form14)を完成させる

□ 学校に持っていくもの（School Supply)の買い出しに行く

□ 学校に持っていくもの全てに名前を書く（小学校ではかなり多い）

Natsumi Hashimoto © All Rights Reserved

忘れがちだけど日本から持って行くべきもの

□ 子どもの水筒、バックパック・・・学校でも使い慣れたものが安心です。赤ちゃんのマグも保冷できるタイプだと良い。

□ 水着、帽子、サングラスなどビーチ必須品・・・到着したらすぐにビーチに行きたい！ママのはハワイで買えばいいやと思ってもそんな時間はないのです。

□ パーカーなどの羽織もの・・・冷房の効いたところや風が強い日の夕方などは夏でも寒いです。船に乗るならウィンドブレーカー必須。

□ 車用のブースターシート、ベビーシート・・・Uberに乗るときもこれがないと乗せてくれないこともあります。小さくたためるブースターシートは便利。

□ 紙おむつ、生理用品・・・日本のほうがずっと安くて質がいい。

□ 温めるだけで食べられるもの・・・到着してすぐや、時差ぼけで子どもが変な時間にお腹すいた時などに

□ お気に入りの調味料・・・粉末の出汁や七味など。

□ COSTCOのメンバーシップカード

持っていきがちだけど実際あまり必要ないもの

□ お米・・・日本のお米は税金で高いけどアメリカのお米は安い。カリフォルニア産のコシヒカリなど結構おいしいんです。

□ フルメイク道具・・・ほとんどお化粧しなくなります。

Natsumi Hashimoto © All Rights Reserved